



さわらびのキャッチフレーズは“森に和む宿”。ロケーションも魅力

みちのく ココロとカラダの癒し旅

みずみずしい自然環境にひたる

秋田県増田町上畑温泉 さわらび

さんが生まれ育った増田という土地柄のみずみずしい自然環境といったものが、しのばれるのである。

町の中心部は、湯沢横手道路の十文字ICやJR奥羽本線の十文字駅から車で十分前後と、交通は至便である。今回紹介する上畑温泉さわらびは、そこからさらに18kmほど山あいに向かつて進んだところにある。ゆっくり走れば三十分はかかる。しかし、その道のりを遠くと感じてはいけない。おそらく、さわらびの開設者は、この宿までの道のりも楽しんでほしいと考えたに違いないのだ。風景に目もくれず先を急いだのではつまらない旅もある。

平鹿郡増田町はリンゴの里。「赤いリンゴに唇寄せて〜」という歌い出しで年配の人なら誰でも知っている歌謡曲「リンゴの唄」は、戦後の日本映画の第一作となった「そよかぜ」の挿入歌であった。この映画のロケ地に増田町のリンゴ園が選ばれている。「リンゴの唄」は、いわば増田のイメージソングと言ってもいいだろう。

また、「釣りキチ三平」で知られる漫画家・矢口高雄さんはこの地域の出身。三平シリーズをはじめ、得意とする牧歌的な山村風景画からも、矢口



釣りキチ三平が「さわらび」のマスコット



黒坂堰頭首工



「さわらび」の近くでは、地域の有志が集まって何やら楽しそうな活動を展開中。その名も「森の王国」



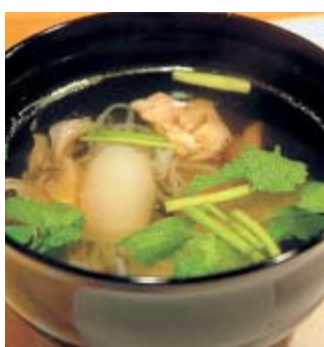
[懐石料理 匠コース]



先付



刺身(ナマズの洗い)



椀(芋の子汁)



焼き物(アワビ伝法焼)



炉(牛肉小角の石焼)



揚皿(キノコ、みずの実、天神)



海鮮ずけらし



甘味(アケビパバロア)



近代的な宿だが、ロビーに下がる自在かぎが
雰囲気をやわらげる

新しい秋田の奥座敷

リング畑や田園風景の中を走った
どり着くさわらびは、開業が平成十
二年と新しいこともあって、ごちんまり
とした中にも落ち着きのある和風温
泉リゾートの情緒たっぷりである。
どこか静かな温泉宿でゆったりと優
雅なひとときを過ごしたいという希望
であれば、この宿はそういう「奥座敷」
の役割を十二分に果たす。
「優雅」とあえて付け加えたのは、

この宿が本格会席料理の宿でもある
からだ。料理長は平成十五年度の「現
代の名工」にも選ばれた山本省三さ
ん。「匠コース」という宿泊プランだと、
先付にはじまり、椀、刺身、焼き物、た
き合わせ…と、味はもちろんのこと、目
でも楽しめる料理が次から次へと出
てくる。山里の閑静な温泉宿で風呂
上がりゆつたりと時間をかけておい
しい会席料理をいただく—そういう
楽しみ方をしたい宿なのである。もち
ろん、旬の素材を活かすので季節によ
って献立は変わる。ちなみに刺身は、

こちらで養殖しているナマズ。臭みもなく淡白でなかなかいける。フグの食感に近い。ぜひ試してほしい味覚だ。

さわらびでは宿泊予約の際に料理の好みを聞いているという。たとえば、ナマズ料理をいろいろ食べてみたいとか、山菜料理をたくさん食べたいといった希望に応えてもらえるのだ。

遠来の客人を歓待したい時、あるいは、身近な大事な人を同伴させたい時、覚えておきたい宿の一軒と言えるだろう。



朝食も料理自慢の宿ならではの美味しい献立



客室名はすべて山野草の名前で統一され行灯(あんどん)は漫画家矢口高雄氏が書いたもの



大浴場のもう1つ「萩の湯」は檜張りの湯。1泊すると両方の湯舟を楽しめる



大浴場「落の湯」は御影石と十和田石でつくられた湯舟

冬こそこんな山里の宿

浴場は、弱アルカリ・カルシウムナトリウム硫酸塩泉の湯が張られる御影石・十和田石づくりの湯舟と檜づくりの湯舟の2タイプ。夜間に男女を入れ替えるので1泊すれば両方の浴場を楽しめる。それぞれ露天風呂がつく。効能としては、切り傷、火傷、慢性皮膚病、動脈硬化などが挙げられるが、アトピーにも良好ということを通じてくる人も少なくないのだとか。また、一時間千五百円で利用できる(障害のある人は宿泊時無料)総檜づくりの貸切風呂もあり、こちらも介添えが必要な人の入浴や小さな子供連れの入浴には重宝だろう。

さわらびに隣接して、同じ源泉を使う「ゆーらく」という日帰り温泉施設がある。こちらはさわらびに先駆け平成五年の開業。この湯の評判がよく、「宿泊できる施設も欲しい」という声があがつてさわらびの建設に至ったようだ。さわらびは開業が比較的新しいこともあって、バリアフリー対策が充実しており、車いす連合会といった団体の会合などにも利用されているという。床に段差のないバリアフリー仕様の和洋の客室も用意されている。車いすを離せない人や高齢者と一緒の家族旅行にもおあつらえ向きだ。

比較的山深いところにある温泉ではあるが、口コミの評判もあって、いつも



囲炉裏をあつらえた部屋もある



山本省三料理長作の切り絵と高野豆腐を素材にした剥物(むきもの)



全館バリアフリーで床に段差のない和洋室が2室ある



開放感あふれる2つの露天風呂がある



貸切風呂は子供連れや介添えが必要な人の温泉浴に重宝

S A W A R A B I

施設のご案内

- 客室 17室
- 宿泊人員 85名様
- 大浴場・中浴場(日替わり)
「落の湯」「萩の湯」
- 露天風呂
- 貸切風呂(総檜風呂)「笹の湯」
- お食事処
- 全館冷暖房完備
- 会議室

お一人様 1泊2食付き
13,000円より(税込)



〒019-0705
秋田県平鹿郡増田町狙半内字古家沢口15
TEL.0182-55-5050 Fax.0182-55-5055
HPアドレス <http://www.sawarabinoyu.com>
Eメールアドレス sawarabi@sawarabinoyu.com

にぎわっている。少しでも静かな時を過ごしたいのであれば、平日に出かけるなり、あるいは、冬の間に出かけてみるというのかもしれない。冬場はかなりの豪雪地帯なのだが、その雪深い山中の温泉宿でほっとした一夜を過ごすというのもなかなかオツなものではないだろうか。プラスチックのレジヤーを楽しみたければ、すぐ近くには変化に富んだゲレンデを持つ天下森スキー場もある。

(文：写真：川かつりゆづり(秋田市))